

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月12日			
平成15年度	事業コード	12320	電話	042-769-9230
担当部課名	保健福祉部	地域医療	課	地域医療 係
事務事業名	救急医療情報センター運営事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	生涯にわたる健康づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	市民医療の充実	63以前年度
施策名	第2施策	救急医療体制の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

急病診療事業実施要綱

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
夜間及び土曜・休日における急病患者に対し、診療可能な医療機関を電話で紹介する相模原救急医療情報センターを運営する。	市民全般
	対象数 616,439人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
相模原救急医療情報センターの設置・運営 開設時間 ・夜間 開設時間17:00～9:00、開設日数365日、相談件数 60,035件 ・土曜・休日 開設時間9:00(土曜13:00)～17:00、開設日数120日、相談件数 18,679件	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
	受付件数(件)	受付件数合計	救急医療情報センターでの電話受付件数により、成果指標とする	12	13	14	15	16
				50,491	69,667	78,714		
活動指標	開設率(%)	開設日/開設予定日×100	開設率により事業の達成状況を見る	100	100	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	66,275	67,254	64,227	62,939	62,939
人員・時間数	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2
人件費	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600
その他経費	0	0	0	0	0
合計	67,875	68,854	65,827	64,539	64,539
特定財源	387	26	0	0	0
対象数	607,293	612,605	616,439		
対象の単位あたり経費	0.1	0.1	0.1	#DIV/0!	#DIV/0!

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	急病患者に対する的確な情報提供を行う事業であるため、達成度は十分あると考えている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	緊急時においての急病患者からの医療機関等紹介業務であり、的確・迅速な情報提供の必要性はあると考えている。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	急病事業を実施していく上で情報提供は大切なものと考えており、非常に有効的な手段と考えている。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	事業の性格上、費用対効果を図ることは難しいが、効率性は十分あると考えている。
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市民全般に対する急病事業であるため、公平性は保たれている。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input type="checkbox"/> ある	説明: 近年、電話相談件数は増加する一方のため、現状での体制では、これ以上の成果は期待できない。	手段	
<input checked="" type="checkbox"/> ない		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		本市と同様の情報センターを有している自治体は、県下では横浜市・川崎市・鎌倉市だけであり、それ以外の自治体では、消防指令が兼務或いは役所の守衛が対応するなど、簡易的なものである。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	救急医療情報センターは、休日・毎夜間において、緊急に医療機関へ受診を希望する患者のための相談窓口としての役割を行っているところであるため、今後とも急病患者(市民)に対し、的確な情報提供を行うことが最大のサービスと考えることから、更なる充実を図っていくことが重要であると考えている。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

市から民間会社への直接委託を検討すること
